

一般社団法人シャローム福祉会

事業報告書

自 令和4年 4月1日
至 令和5年3月31日

一般社団法人シャローム福祉会

令和4年度 就労継続B型「ベーシック憩」：基準日令和5年3月31日 事業報告

基本方針

ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、一人一人が自分の住む地域でその人らしく自活し、生き生きとした日中生活が送れるように支援していく。その為にも支援の内容は、利用者個々の持つ特性に応じ、本人の人格と意思を尊重する。同時に自分らしく生きる為の場作りとして利用者主体の支援を提供するものとする。

また、作業活動を中心とし、就労に対する心構えや技術の習得、働くことに対する喜びや大切さを学ぶと共に、社会の一員として、将来的ビジョンを明確にし、自己実現できることを目指す。

令和4年度一般社団法人シャローム福祉会ベーシック憩事業において、令和4年度22名の利用登録者で開始。一日平均利用者数は（ 18.27 ）人、就労継続支援事業B型（ 22.75 ）人で利用定員（ 80.03 ）%の利用率だった。シャローム福祉会「ベーシック憩」では利用者の人権を尊重し、利用者主体のサービスを提供することを職員目標に、1：「共学」☆共に学び、2：「共労」☆共に働き、時に一緒に苦労し、3「共楽」☆共に楽しみ、4：「共生」☆共に生きるを「支援テーマ」に職員は一年を通して障がい者支援を実施してきた。事業所全体活動の目的としては、「学ぶ」をテーマに、外部講師を招き、交通ルールや触法、苦情解決、働くためのルールの研修を実施し、基本的な生活に関わる勉強会を開催致しました。

事業活動報告

【お菓子班作業】担当職員：大宮・佐藤（裕）

現在8名の方がお菓子班担当として活動され、昨年同様、殆どの作業工程を利用者さんで執り行うことが出来る様になってきています。製造菓子の種類の見直しを図り、売上が伸びている商品を中心に製造を行い、製造ロスを意識した取り組みを実施しました。共生社会ふくしま実現協議会発足に伴い、福島市に本社のある株式会社いちい様協力のもと、レジ脇スペースに商品を卸し、委託販売活動を実施致しました。当初2か所での委託販売でしたが、4か所に増える事で売り上げも増加している状況。令和3年度、月売上平均3～5万円⇒令和4年度は平均7万円と伸び率が向上している。

特定顧客や商品認知度も上昇している事で、従来の製造工程では追いつかない状態になってきている。職員の業務負担や残業も増加であることから、来年度の課題として、生産効率化の向上、オープン、ミキサー容量を増量の為、機材等の購入を検討していく。また、時間効率化を図る為に、「ムダ・ムラ・ムリ」を意識し、合理的に事業を展開していく。

【木工班作業】担当職員：後藤

木工班担当利用者さんは、8名在籍し、研磨作業、塗装作業、工場での木材切断作業等を実施致しました。当該利用者において、電動のこぎりを使用中、左指先深切創（1／2）9割切断する事故が発生。以降職員により、機材の管理断材を行っている。

コロナウィルスによる影響で、昨年度に引き続き定期注文となっていた火おこし器制作の注文が殆どなく、展示即売会や外部販売での売上が殆どでありました。中止や自粛が続き、伸び悩んだ年でしたが、昨年度の目標として挙げられていた「クオリティー」を意識することで、デザイン系の商品欄間、木工表札、ポストカード入れ、絵画すのこが完成し、昨年度実績より30%売上向上になって

いる。展示即売会等において、来客者さんの目を引く商品として高評価を頂いている。

【PC 班作業】 担当職員：杉山

今年度は「ひまわりプロジェクト」の作業が中心となった年でした。取引先として関係があったグリーンコープ様、生活クラブ生協様、明治安田生命様などから、例年より注文をたくさん頂き、利用者さんへの作業として活動致しました。

「憩」新聞も、昨年同様定期的に発行を行い、取材から記事作成、更新までの一連の活動を行いました。

項 目	実施した内容															
令和4年度 利用実績 登録者数	月	事業所稼働日 (3年度との増減)	就労B 4年度 利用延べ人数 (3年度との増減)	就労B 3年度 利用延べ人数 (2年度との増減)												
	4月	22日(+1)	419人(+3)	416人(-26)												
	5月	21日(+2)	363人(-31)	394人(-6)												
	6月	22日	421人(-37)	458人(-8)												
	7月	20日(-1)	382人(-40)	422人(-31)												
	8月	21日(+3)	349人(-25)	374人(+21)												
	9月	22日(+2)	354人(-54)	408人(-4)												
	10月	23日(+1)	370人(-65)	435人(-10)												
	11月	23日(+3)	358人(-48)	406人(+15)												
	12月	23日(+2)	374人(-10)	384人(-15)												
	1月	18日	321人(-22)	343人(-65)												
	2月	20日(+2)	361人(+27)	334人(-43)												
	3月	23日	406人(-68)	474人(+115)												
	合計	① 243日(-1日)	② 4,478人 (-542人)	③ 5,020人 (+877人)												
	算定式 ②÷①															
○平均利用者数 就労継続支援事業B型 19.21人																
※減算対象 3ヶ月利用延べ人数 17.5人まで																
<table><tr><td>平成28年度</td><td>43,414,260円</td></tr><tr><td>平成29年度</td><td>39,936,140円</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>43,315,385円</td></tr><tr><td>令和1年度</td><td>36,239,889円</td></tr><tr><td>令和2年度</td><td>36,726,753円</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>38,524,550円</td></tr></table>					平成28年度	43,414,260円	平成29年度	39,936,140円	平成30年度	43,315,385円	令和1年度	36,239,889円	令和2年度	36,726,753円	令和3年度	38,524,550円
平成28年度	43,414,260円															
平成29年度	39,936,140円															
平成30年度	43,315,385円															
令和1年度	36,239,889円															
令和2年度	36,726,753円															
令和3年度	38,524,550円															

		令和4年度	35,840,660 円	
	<p>令和5年3月末までの利用者人数</p> <p>○利用者人数 就労継続支援B型 22名(20名定員)基準令和5年3月31日</p> <p>精神障害(精神福祉手帳及び医師の診断) = 4名</p> <p>知的障害(療育手帳) = 18名</p> <p>身体障害(身体福祉手帳) = 0名</p>			
<p>業務経過報告</p> <p>令和4年度</p> <p>月別業務</p> <p>年間予定表行事</p> <p>作業班交流会・</p> <p>地域清掃活動等</p>	<p>4月 お花見・クイズ大会：事業所内活動</p> <p>5月 ひまわりの種まき作業 青葉学園畑</p> <p>穴戸果樹園 (摘果作業)</p> <p>利用者自治会 憩ルールについて(研修)</p> <p>7月 ご家族・関係者見学週間(4～8日)</p> <p>8月 ひまわり作業・BBQ</p> <p>利用者自治会 夏期休暇の過ごし方</p> <p>夏期休暇(12～16日)</p> <p>9月 利用者自治会 部分防災訓練</p> <p>ポチ袋作成：作業班活動</p> <p>※利用者コロナ陽性判明の為、事業所自粛(5～7日)</p> <p>※台風14号接近の為、事業所休み(20日)</p> <p>10月 利用者自治会 OJT研修：事故の危険性を学ぶ</p> <p>※利用者コロナ陽性判明の為、事業所自粛(17、18日)</p> <p>新商品開発会議・BBQ</p> <p>※エアコン購入(赤い羽根共同募金)</p> <p>11月 ひまわり感謝祭</p> <p>12月 利用者自治会 OJT研修 基幹相談 畠氏</p> <p>販売促進会議：事業所内活動</p> <p>理事 小林善成氏 100歳記念祝賀会</p> <p>共生社会実現協議会主催 第1回 スイーツコンテスト(準優勝)</p> <p>冬期休暇(12月29日～1月4日)</p> <p>R5 1月 仕事(作業)初め</p> <p>※利用者コロナ陽性判明の為、事業所自粛(13～17日)</p> <p>2月 販売促進会議・ポップコーン作り・映画観賞</p> <p>飯野町 UFO ふれあい館取引開始</p> <p>3月 総合防災訓練・缶バッチ</p>			
一日の職員業務内容	※基本職員カリキュラム(日程)別紙参照			
<p>施設外活動</p> <p>担当：後藤</p>	<p>【特別養護老人ホーム はなしのぶ】</p> <p>コロナウィルス感染症の影響により、施設側より施設外活動休止の要請が出た為、</p>			

(施設外就労支援)	<p>再度活動を自粛中。</p> <p>【船山工業株式会社】</p> <p>主にカレー作りを担い、企業で働く従業員の方々に調理したカレーを提供する作業を実施。物理的環境により、基本利用者2～3名、職員1名での活動とした。</p>
<p>ひまわり プロジェクト 関連事業 担当 杉山・佐藤(裕)</p>	<p>1・ひまわりオイル紙掛け・種発送・ひまわりオイル発送・納品請求書発送作業 パソコン班担当</p> <p>2.みんなの煎餅箱詰め・発送・注文取りまとめ・納品請求書発送作業</p> <p>※その他関連作業については、NPO法人シャローム(宍戸氏)と連携を図り活動に参加した。</p>
<p>就労支援 担当 高野・杉山</p>	<p>令和4年 4月：福島県立医科大学 駅前キャンパス 障がい者雇用枠にて採用</p> <p>令和4年 12月：ペッツマム 障がい者雇用枠にて採用</p> <p>令和4年度実績は「2名」就職者</p> <p>就業継続における定着支援が必要でありました。</p>
<p>相談業務 苦情相談 担当：高野 杉山</p>	<p>相談業務は、昨年同様、大小を合わせると、1日平均約2件以上利用者さんより寄せられている。相談される方として、同じ利用者さんが多い傾向であるが、他の利用者さんに関しては、普段と異なる様子が見受けられた際(表情、行動、声のトーン等)面談を実施することもありました。</p> <p>発生している状況で、各職員が一人ひとりに寄り添い、原因について確認を行う事で大きなトラブルに発展する事はなかった。内容としては、対人関係面についての相談が多く存在し、利用者さん同士での対人コミュニケーションによる誤解や相性面(苦手意識)での苦情が殆どでありました。</p> <p>時に職員に対しての苦言、苦情も存在しましたが、その都度誠実にご対応させて頂く事で、第三者委員、福島市障がい福祉課、県社協相談への訴えもなかった。</p> <p>また、利用者自治会に外部講師を招き「虐待防止法及び触法」についての研修会を開催することで、一般社会での生活上必要なルール、倫理に関して利用者一人一人が真剣に受講することが出来ていました。</p> <p>※好評につき来年度も開催する予定。</p>
<p>事故 ヒヤリハット 苦情</p>	<p>事故報告発生件数 (15 件)</p> <p>内容：木工作业時の指頭部打撲・利用者私物の破損・菓子商品賞味期限誤表示、賞味期限切れの販売・振込金額相違・自動車衝突事故・利用者さんの上履き紛失・利用者さんの作業中による怪我</p> <p>ヒヤリハット報告 (13 件)</p> <p>内容：利用者さんの失踪未遂、怪我未遂・利用者さん同士のいざこざと苦手意識・施設外就労時のトラブル・配達中の業務車による不具合・お菓子生地仕込み中の異物混入・利用者さんの意識消失・注文品の周知漏れ</p> <p>苦情報告発生件数 (8 件)</p> <p>内容：利用者さん同士の対人コミュニケーション、作業態度、いざこざ・職員の利</p>

	利用者さんに対する言葉遣い、態度・利用者さんによる県運営適正委員会への報告・利用者さんの個人情報への対応
その他業務活動	1・授産事業振興会 2・共生社会ふくしま実現協議会 販売促進部会部会長 （高野） 3・施設長会議 （月1回） 4・全体ミーティング（月1回） 5・販売促進会議 （月1回） 6・リーダー会議 （3か月1回） 7・職員会議・職員研修、ケース会議（週1回） 8・利用者ケース会議（毎日）

主要事業報告

1. 就労継続支援B型一本化

B型事業所福祉サービスに転換し、専門的なソーシャルスキル等の向上が図られるようになりました。利用者一人一人の尊厳と個性を大切にすることで、実際に利用者さんの通所率向上に繋がりました。

2. コロナウィルス感染症による利用時間変更等と活動自粛

世界的にパンデミックを起こしたコロナ感染症による影響は、当事業所にも多大なる影響を及ぼしました。コロナウィルス感染症対策として、令和3年度に続き、以下の取り組みを実施しました。

○令4年度事業所活動時間 9:00～15:00→10:00～15:00

感染予防対策の1つである「3密を避ける」：公共交通機関を利用している方が半数を占める憩では、開始時間を1時間遅らせる事により、朝の通勤ラッシュ時間の通所を避け、感染確立の低減を実施しました。この取り組みは、シャローム福祉会全体での実施となり、夢工房同時間での活動時間変更となりました。

3. 農福連携への参加

農福連携の概要【全農福島提出書類より抜粋】

農業者と社会福祉法人等の福祉団体が連携し、障がい者・高齢者らの農業分野での就労を支援する取組。「農」・「福祉」双方の課題を解決し、win-winの関係になる取組。

○土船地区穴戸果樹園様の協力のもと、農福連携に参加してきました。福島市、福島地域福祉ネットワークサポート、農業従事者、福祉事業所、共に連携を取っての実施となりました。ベーシック憩では、穴戸果樹園様のりんご畑で、りんごの摘果作業に参加しました。平均参加利用者数は4名、職員1～2名の体制での実施となり、活動時間は、1時間30分と短い時間ではありましたが、「楽しかった」「また参加したい」と自然に触れ合う事の喜びの声が聞かれました。他福祉事業所の利用者さんや、地域の方との触れ合いもあり普段の活動では体験できない事も経験出来た事で、モチベーションアップに繋が

った利用者さんもありました。

4.就労支援事業(授産会計)の安定化

平成 24 年度に開所してから、就労会計に関して、工賃と授産収益のバランス(※1)が取れていない状態であり、引き続き、就労会計面で売上向上を目指し、福祉事業所でありながらも企業の側面に立った視点からの企業努力が必要であると考え、新商品の開発、製造販売商品の絞り込み等を実施してまいりました。

福祉的理念>企業の理念の優先順位を忘れてはならない。

(※1)訓練等給付費(利用料)から利用者工賃をお支払いしている状態。

5.社会福祉事業における職員人材育成

毎日、ケース会議を実施する事により、利用者個々の障がい特徴を把握し、各職員が共通理解をもちながら支援を実施する事が出来ていました。→各職員のソーシャルスキル向上が見られた。

6.福島西庁舎新設に伴った、障害者展示即売会スペースへの参入

主旨：共生社会の実現を目指すものであり、障がい児・者だけでなく、一般の方にも利用して頂き、障がいのある人と、ない人の交流が生まれ、障がい者への理解を深めてもらうための交流スペースの設置。共生社会実現のための交流スペース設置に賛同し、かつ、飲食の提供を事業として実施、または計画されている就労系の事業所の皆様を対象に説明会を実施。

ベシク憩の他に障がい者福祉施設 7 事業所が、コアメンバーとして活動致しました。

福島地域福祉ネットワーク会議、福島市役所障がい福祉課とも連携を図り、共に協力し合いながら、株式会社「いちい」様からは、上記の「共生社会に向けての取組み」に社会貢献の観点から検討したいとの申し出があり、いちい旧中合店での展示即売会が実現致しました。客足も多く、授産製品を多くの方に知って頂く絶好の機会となりました。その後、「いちい」様より、市内の各店舗での委託販売の提案があり、ベシク憩では「いちい渡利店」にて委託販売を開始しました。福島市役所西庁舎の完成予定は、令和 6 年となっており、それまでの期間、地域の企業や福祉事業所同士の「横の繋がり」を強化し、「障がいへの理解のある社会」としての年となりました。

7.ひまわりプロジェクト・畑作業

基本活動：令和 4 年度における「ひまわり栽培」では青葉学園様の畑を借用し、ひまわり・野菜を栽し令和 3 年度の反省点から土壌作り、植え方、栽培・育成方法の改善を図り、継続してきました。また、地域の賛同者、NPO 法人シャローム、シャローム福祉会、全国のボランティアさんより、ひまわり育成を継続し、地域共生社会の一環として「つなぐ☆未来へ」をテーマに活動基盤作りを目指してきました。

今年度のひまわり畑・野菜栽培作業回数（日時）と参加延べ人数

作業日	参加人数（職員・利用者・憩のみ）
5月14日（土）	7名
5月20日（金）	5名
6月3日（金）	6名
6月17日（金）	7名
7月1日（金）	7名
7月29日（金）	7名
8月5日（金）	5名
9月16日（金）	2名
Total：8日	Total：46人

課題：①参加者の減少

前半において変わりは見られなかったが、8月以降、利用者さんの参加人数が減少している。その要因ははっきりとはしていないが、モチベーションの維持が難しいよう伺えた。また、トイレの心配はないが、夏日により暑さを敬遠される状態も考えられる。（夏日の作業に職員1名が熱中症気味になった。）利用者さんに目に見える形で「成果」がわかるようにしていき、「暑い中でもやってよかった」と思ってもらえる作業に変えてゆく必要があると思われる。

②除草作業・種まき・野菜

畑の土壌が稲作田であった影響で水掃けが悪く、ひまわり以外の栽培にも苦戦が強いられた。種を蒔いても目が出ず、試行錯誤したが成果は鈍く、検証した結果、土壌内に生息する種を食べる虫ではないか、との話が出た。また、ひまわりに関しても小さい物が多く、栽培と呼ぶには乏しいものであった。雑草に関しては定期的に確認しないとすぐに生えてくる状態。これらを見直し、来年度の作業には虫の駆除、大きな花を咲かせるひまわりの栽培が可能となる、時間は掛かるが土壌の改善を考えていく必要がある。

③地域の方々

5月14日（土）の地鎮祭には地域の方々にも参加頂いたが、「交流」という意味では乏しく、イベント等の呼びかけに応じられる事は少なかった。協力者様の畑に野菜を植えさせて頂いたが、多くの方々ではなかった。今年度より始まった事業であり、「何をしているんだろう？」等の見解が伺えられ、浸透していくにはまだ時間が掛かると推測される。目標としては地域の皆様に認められ、その地域全体を巻き込んだプロジェクトとなっていく事が理想であり、互いに情報提供、「交流」が発展してゆく事である。

ベーシック憩 基本職員カリキュラム（日程）

一日の流れ

8：20頃（10分前には出勤）

出勤 → タイムカード使用

着替え・就業準備・一日の流れの確認

当番表により、日直を実施。（別紙資料）

8：30

職員朝の打ち合わせ 日程確認、日中活動確認

利用者通所 体調、表情等目視で確認。

雨天時は、利用者衣類確認、タオル準備

欠席状況及びご本人からの連絡有無の確認

10：00

作業 お菓子班・木工班・パソコン班に分かれての作業支援実施

※ご家族の前で出来る支援（サポート）と呼び掛けを目指す

※就業時間友達と話すような感じではありませんか？福祉職員として距離感を保って対応されていますか？目に見えない距離間、友達コミュニケーション→親しみ＝親近感
近くなる事→他の利用者さんも真似して他の利用者さんと同じ言葉を浴びせる・対応
をする。→不協和音、対人関係面でのトラブル・別離→職員虐待の発展に繋がりやすい。

（例）「職員」：何度言ってもわからない！→言葉での暴力から体罰に繋がってしまう
小さな要因から始まるプロセスである。職員間でもどうでしょうか？上から目線での
物言いはありませんでしょうか？職員の中でも出来なければ利用者さんへも出来ませ
ん。

一番は利用者さんの憩への安心感と安全の確保、職員全員の生活を損なわない為です

ベーシック憩は、「ジェントルティーチング」を推奨していきます」

※作業準備確認及び、作業班一日の日程を確認する。

※メンバーが揃っているかの確認。

11：00

休憩 ※利用者休憩時間 ※利用者活動状況の確認

休憩時間に口論になるケースもある為、遠目から確認を要する

11：10

作業 午前の作業支援同様

※各作業班のメンバーが揃っているか確認実施

12：00

お昼休み 事務室で昼食。利用者昼食状況を確認

※服薬者の確認。対人関係面での状況確認を実施。また、落ち着かない利用者さんへの対応
を行う

※私事都合により、外出される場合、施設長及び主任への連絡を行う

※お昼のみに関わらず、職員配置については、常に意識していただきたいと思います

13：00

作業 お菓子班・木工班・パソコン班に分かれての作業支援実施

※午前の作業同様

14：15頃

作業場内清掃の参加、作業反省会参加 ※各作業班により実施

- 作業終了
- 14:45 利用者終礼
日直当番により司会進行する。(別紙参照)
利用者退勤時見送り(忘れ物がないか、事故等がないように呼び掛け実施)
ケース記録パソコン文章打ち込み
- 16:00 ケース会議
※日中活動時の利用者ケース(活動状況)について話し合う
問題・課題点ばかりに、着目せず利用者さんの良かった点についても話し合う
ストレングスポイント:本人の強み得意なことに視点を持つ
エンパワーメント:一人一人の誰もが潜在的に持っているパワーや個性など、人が持っている力を引き出し、自己選択自己決定(意思決定)で、個人や集団の潜在能力を発揮させる考え方
※翌日日程スケジュールの確認
ケース記録:パソコン文章打ち込み。各利用者さんへの支援内容や状況等について記録します。主観的な感想を記入するではありません。「作業が出来てよかったな~と思う」等は基本的にNG→達成できていた。作業に参加する事が出来ていた等はO・K。ケース記録は、本人が閲覧できるものである為、本人の立場に立った視点での記録お願い致します。
明日の作業事前準備、その他行事資料作成等
当番制により、月~木曜日、トイレ掃除実施(別紙資料あり)
- 17:30 退 勤
他職員への挨拶を行う

福祉事業所の就労姿勢の基本として、ベーシック憩では、【挨拶】、朝「おはようございます。」・帰り「お疲れ様でした」と同時に【感謝する気持ち】を大切にしています。

「ありがとう」の一言が職員一人ひとりの「和」と「繋がり」を生み出す事が出来ます。

※利用者さんへの支援＝**応援**にも反映してきます。

※上記内容につきましては、基本的カリキュラムである。

※上記業務内容に意外に、細かな業務内容が存在します。また、各作業担当及び業務内容も事なります。

分からない事は、他スタッフへの説明を頂いてください。

その他業務内容

- 施設外就労 船山工業 金曜日(職1名:利用者3名)※第3金曜日を除く
- 外部販売 (月1回) 県社協・市役所・県庁
- トイレ掃除 (毎日)2か所:隔週ローテーション表による。(職員)
- レクリエーション活動 (月1回)土曜日 ローテーション表により職員2名配置
- 日直当番 (毎日)ローテーションにより、日替わりで利用者処遇記録、業務記録を実施。
- 職員会議・職員研修(毎週水曜日)職員全員参加(行事内容確認、利用者支援内容、月予定表、販売促進等)
- 農福連携・ひまわり畑作業 5月~10月にかけて月予定表の活動を実施。職員3名配置

令和4年度年間予定表（ベレーシック憩）

4月	行事予定	5月	行事予定	6月	行事予定	7月	行事予定	8月	行事予定	9月	行事予定	10月	行事予定	11月	行事予定	12月	行事予定	1月	行事予定	2月	行事予定	3月	行事予定
1 金		1 日		1 水		1 金		1 月		1 木		1 土		1 火		1 木		1 日	元旦	1 水	職員会議	1 水	職員会議
2 土		2 月		2 木		2 土		2 火		2 金		2 日		2 水		2 金		2 月		2 木		2 木	
3 日		3 火	憲法記念日	3 金		3 日		3 水	職員会議	3 土		3 月		3 木	文化の日	3 土		3 火	元日振替休み	3 金		3 金	
4 月		4 水	みどりの日	4 土	関係者見学週間	4 月		4 木		4 日		4 火		4 金		4 日		4 水	↓	4 土		4 土	
5 火		5 木	こどもの日	5 日		5 火		5 金		5 月		5 水	職員会議	5 土		5 月		5 木	仕事始め：個人自費 10時～12時	5 日		5 日	
6 水	職員会議	6 金		6 月	職員会議	6 水		6 土		6 火		6 木		6 日		6 火		6 金		6 月		6 月	
7 木		7 土		7 火		7 木		7 日		7 水		7 金	職員会議	7 月		7 水		7 土		7 火		7 火	
8 金	合同ケース会議	8 日		8 水	合同ケース会議	8 金		8 月		8 木		8 土		8 火		8 木		8 日		8 水	職員会議	8 水	職員会議
9 土	作業班交流会 （お花見）	9 月		9 木		9 土		9 火		9 金	合同ケース会議	9 日		9 水		9 金	職員会議	9 月	成人の日	9 木		9 木	
10 日		10 火		10 金	合同ケース会議	10 日		10 水	職員会議 事業所内大掃除	10 土		10 月		10 木	スポーツの日	10 土		10 火		10 金	合同ケース会議	10 金	合同ケース会議
11 月		11 水	職員会議	11 土		11 月		11 木	地域清掃活動 山の日	11 日		11 火		11 金		11 日	合同ケース会議	11 水	職員会議	11 土	建国記念日	11 土	
12 火		12 木		12 日		12 火		12 金		12 月		12 水	職員会議	12 土		12 月		12 木		12 日		12 日	
13 水	職員会議	13 金	合同ケース会議	13 月	職員会議	13 水		13 土		13 火		13 木		13 日		13 火		13 金	合同ケース会議	13 月		13 月	
14 木		14 土	憩友の会交流会	14 火		14 木		14 日		14 水		14 金	職員会議	14 月		14 水		14 土		14 火		14 火	
15 金	利用者自治会	15 日		15 水	職員会議	15 金		15 月	利用者自治会	15 木		15 土		15 火		15 木		15 日		15 水	職員会議	15 水	職員会議
16 土		16 月		16 木		16 土		16 火	地域清掃活動	16 金		16 日		16 水		16 金		16 月		16 木		16 木	
17 日		17 火		17 金		17 日		17 水	職員会議 作業準備	17 土		17 月		17 木		17 土		17 火		17 金	利用者自治会	17 金	利用者自治会
18 月		18 水	職員会議	18 土		18 月		18 木		18 日		18 火		18 金		18 日	利用者自治会	18 水	職員会議	18 土		18 土	作業班交流会 （防災）
19 火		19 木		19 日		19 火		19 金		19 月		19 水	敬老の日	19 土	職員会議	19 月		19 木		19 日		19 日	
20 水	職員会議	20 金	利用者自治会	20 月	職員会議	20 水		20 土		20 火		20 木		20 日		20 火		20 金	利用者自治会	20 月	月例運営委員会 全体ミーティング	20 月	
21 木		21 土		21 火		21 木		21 日		21 水	職員会議	21 金		21 月		21 水		21 土	作業班交流会	21 火		21 火	春分の日
22 金	ＯＪＴ研修	22 日		22 水		22 金		22 月		22 木		22 土		22 火		22 木		22 日		22 水	職員会議	22 水	職員会議
23 土		23 月	月例運営委員会 全体ミーティング	23 木		23 土		23 火		23 金		23 日		23 水	勤労感謝の日	23 金	ＯＪＴ研修	23 月	月例運営委員会 全体ミーティング	23 木	天皇誕生日	23 木	
24 日		24 火		24 金		24 日		24 水		24 土		24 月	月例運営委員会 全体ミーティング	24 木	職員会議	24 土		24 火		24 金	ＯＪＴ研修	24 金	ＯＪＴ研修
25 月	月例運営委員会 全体ミーティング	25 水	職員会議	25 土	月例運営委員会 全体ミーティング	25 月		25 木		25 日		25 火		25 金	ＯＪＴ研修	25 日		25 水	職員会議	25 土		25 土	
26 火		26 木		26 日		26 火		26 金	月例運営委員会 全体ミーティング	26 月		26 水	職員会議	26 土		26 月	月例運営委員会 全体ミーティング	26 木		26 日		26 日	
27 水	職員会議	27 金	ＯＪＴ研修	27 月	職員会議	27 水		27 土		27 火		27 木		27 日		27 火	↓	27 金	ＯＪＴ研修	27 月		27 月	月例運営委員会 全体ミーティング
28 木		28 土		28 火		28 木		28 日		28 水	職員会議	28 金	ＯＪＴ研修	28 月	憩友の会交流会 全体ミーティング	28 水	仕事始め 10時～12時	28 土		28 火		28 火	
29 金	昭和の日	29 日		29 水	ＯＪＴ研修	29 金		29 月	月例運営委員会 全体ミーティング	29 木		29 土		29 火		29 木		29 日	冬季休暇			29 水	職員会議
30 土		30 月		30 木		30 土		30 火		30 金		30 日		30 水		30 金		30 月				30 木	
		31 火				31 日		31 水			職員会議	31 月				31 土		31 火				31 金	
所定労働 日数 20日	お花見 作業班交流会	所定労働 日数 20日	憩友の会交流会	所定労働 日数 22日	憩友の会交流会 家族見守り週間	所定労働 日数 20日	憩友の会交流会 20日	所定労働 日数 19日	作業班地域清掃活動 環境整備（大掃除） 夏季休暇（平日3日）	所定労働 日数 20日	総合防災訓練 作業班地域清掃活動 リスクマネジメント会議	所定労働 日数 21日	憩友の会交流会	所定労働 日数 20日	憩友の会交流会	所定労働 日数 20日	憩友の会交流会 ひまわり感謝祭 環境整備入浴除 冬季休暇（平日3日）	所定労働 日数 18日	新年会 作業班交流会	所定労働 日数 19日	作業班交流会	所定労働 日数 22日	作業班交流会 総合防災訓練 リスクマネジメント会議

夏季休暇、冬季休暇（平日3日）

県社協第1火曜日
県庁販売 第3木曜日
市役所販売 第2月曜日

販売先

松山工業施設外就労 第三金曜日を除く金曜日
はなしのぶ施設外就労 毎週月・水

その他活動

プール活動 第3木曜
図書購入(月1回)

(第3を除く)

会
議
関
連

ヒヤリハット会議(月1回)
OJT研修月末金曜日(12回)
職員会議(毎週水曜日)
全体ミーティング(毎月1回)

地域清掃活動・＝渡利地区(花見山周辺)参加希望者と致します。午前11時終了
は、所定労働日とし全体活動とする。利用者さんは、工賃を支給する活動になります。
は、作業班交流会とし販売促進に関係する行事とし工賃を支給する活動になります。
※ひまわり大使研修旅行に關しては、未定

令和元年度実績 所定労働日数242日
土曜日レク時間外活動 9日

令和2年度 所定労働日数244日
土曜日 作業班交流会 8日

令和3年度 所定労働日数243日
土曜日 作業交流会 4日

令和4年度ベーシック憩相談支援事業所事業報告

主要事業報告

令和4年4月から「まちなか夢工房」生活支援員兼務、相談支援専門員1名入職（伊藤麻希）、令和4年9月より「ベーシック憩」職業指導員、相談支援専門員兼務したことにより、1名の事業所から2名事業所となった。福島市「相談支援専門員」補助金120万円（年間40名新規対応）することで来年度入金予定。

登録者数

知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	合計
40名	16名	54名	110名

伊藤相談員担当22名 佐藤相談員担当88名

令和5年4月より精神障がい者相談委託事業契約開始となることで、令和5年1月から3月まで、業務引き継ぎのために、「ひびき」へ出向勤務となった。出向料80万円受領済。3月1日。

事業経過報告

1) 指定特定相談支援事業所ベーシック憩の特徴として、精神障がい者のケースが多く知的障がい者、身体障がい者は重複障がいを持ち困難ケースが混在している。※（困難ケースとは）知的障害＆精神障害や身体障害＆精神障害、日常生活内で医療行為が必要なもの（酸素マスク、胃ろう等）、精神障がい者に関しては、自殺企図、キーパーソンになる家族から拒否されている、入退院の繰り返し、犯罪歴有、障がい者であり出産、子育て、子どもたちも障がい者である等のケースをいう。

問題行動等の件数が多く、地域福祉ネットワークと連携を図ることで、フードバンクステーションの役割を担い、貧困世帯にフードバンクの食料を届けられることができるようになり、障がい者の子育てや虐待に繋がりやすい貧困家庭を、訪問しながら見守ることができた。明日、子どもたちに食べさせるものがない等の緊急時対応もできるようになった。

2) 相談支援事業所を立ち上げて6年経過し、福島市からの要望により困難ケース受け入れ、福島市全体の相談支援専門員質の向上のため、基幹相談支援事業所と連携を図り相談支援専門員指導に関わり、精神障がいに特化した地域移行部会リーダー任務継続となった。

3) 福島市障がい者に関しては、年毎に傾向の変化が見られ、令和4年度に関しては、ヤングケアラーやコロナの影響もあり貧困家庭が目立った。障がい者手帳保持している親が、シングルで手

帳保持児童生育している状況が増えている傾向がある。

学校に行けずに親（精神障害者）、祖父母、兄弟の面倒見ており、本人が現状把握をしていない状況である。つなげる資源がなく、障害福祉課や地域福祉課、児童相談所、こども家庭課へ繋いでいるが、対策がない状況である。

8050 問題含み引きこもり発覚されているが、引きこもる年数が 20 年、30 年と長くなればなるほど、地域へ戻ることが困難となり、親亡き後が懸念される家族が増幅している。

4) 新規相談支援事業所開所 36 件・ 閉所事業所 0 件

令和 3 年度より、福島市の取り組みとして、新しい相談支援専門員増員につき、年間 40 名の新規受け入れした場合に補助金申請することができ、1 名につき 120 万円支給されることになったことで、閉所する事業所が激減したと考えられる。シャローム福祉会でも 1 名申請している。

R4年度 ひびき委託相談資料

	訪問	来所	同行	電話	メール	個別 支援 会議	ピア サ ポー ター	その ほか
4月	2	36	1	2890			3	1
5月	1	14	3	3010		2		
6月		19	4	3680		4		
7月	2	19	1	3660		1		
8月		18	1	3640	3	3		
9月	1	27		3850			4	
10月	1	19	3	2980			4	
11月		23		3710				3
12月		15		3700			4	
1月	1	6		2440				2
2月		6		2310			4	
3月		1		2490			6	
合計	8	203	13	38360	3	10	25	6

38628

※支援センターひびき利用者対応含む。電話は、1日10回かけてくる頻回者含む。

委託相談 令和4年度 実績

基本相談（延べ件数）	38628件
コーディネータ業務（新規登録件数）	3件
認定調査	81件

令和5年度予定

ピアカウンセリング	21回
第1、第3水曜日	
当事者研究	12回
第2水曜日	

令和4年度 就労継続支援B型 「まちなか夢工房」事業報告

基本指針

ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、一人一人が自分の住む地域でその人らしく自活し、生き生きとした日中生活が送れるように支援していく。その為にも支援の内容は、利用者個々人の持つ特性に応じ、本人の人格と意思を尊重する。同時に自分らしく生きる為の場作りとして利用者主体の支援を提供するものとする。また、作業活動を中心とし、就労に対する心構えや技術の習得、働くことに対する喜びや大切さを学ぶと共に、社会の一員として自己実現できることを目指す。

主要事業報告

令和4年度より、ベーカリー班、販売促進班の2つの班構成を廃止し、新たにチーム体制を導入し、リーダーの育成、各利用者さんの役割を明確化し、目標・取り組みについてアクションプランを活用し、PDCAを実施。利用者さん一人一人が、働くことへのモチベーションを向上出来るよう、サポートを行った。

「共学・共労・共楽・共生」をテーマに職員と利用者さんが共に、「地域」と関わり、福島市の生産者さん、事業者さんと関わる場面（果樹やお野菜の収穫体験や見学）を通じて、交流する中で福人の商品開発を行った。公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構による福島イノベーション創出プラットフォーム事業 Fukushima Tech Create 2023、ビジネスアイデア事業化プログラムを通じて、ティー・エス・ビー（株）との連携によるおからのアップサイクル事業を通じて、自治体と企業、福祉事業所が連携しながらおからを活用したパン作りのオペレーションを作成した。成果物発表後もティー・エス・ビー（株）との連携事業をすすめることとなった。自治体や企業、地域資源と関わり、福島を担う社会性の高い事業を展開、長年に渡るまちなか夢工房の地域での活動が飛躍する1年となった。

令和5年4月26日（水）福島市福祉監査課による実地指導があり、書面指導として、訓練等給付費の額に係る通知、勤務体制の確保、身体拘束等の禁止、虐待の防止についてご指導いただいた。

（1）作業支援

目的：常に就労を意識し、一つ一つの作業・コミュニケーションを通じ、利用者本人が、自分の強みを生かしながら、一方で社会に求められる需要にも柔軟に順応できるようにステップアップしていくこと。希望職種への就労をめざしながら、より自分らしくより輝いて、自立した生活・人生を過ごしていくことを目標とし作業提供を行った。また、作業役割ごとにチームを編成し、作業進捗、タイムスケジュールの共有を行った。

【パン製造チーム】

1日平均4万円の製造を目標値とし、パン製造にかかわる作業全般を行った。

【菓子製造チーム】

1日平均5千円の製造を目標値とし、店舗販売分、外販・納品分の焼き菓子を製造を行った。

【店舗チーム】

店舗管理、パン販売に関わる作業全般を行った。

【集客チーム】

来店 1 日 50 人を目標値とし、呼び込みをしながらお客様の声を聞き、商品展開や店舗運営に活かした。

【企画立案営業チーム】

SNS 配信、ディスプレイ企画、商品イベント企画を行った。

【経理事務チーム】

週実施計画等の必要書類の準備、原価計算などの事務作業及び HP 更新等のパソコン作業を行った。

【ひまわりプロジェクトチーム】

畑での農作業を行い、ひまわり栽培や野菜作りを行った。

【価値創造チーム】

菓子梱包、販促物制作、T シャツプリント、納品業務、トースト・サンド製造等様々な作業を行った。

（２）就労支援

本人の意思に基づき、個別支援計画を作成。日々の作業活動を通じ、就労を意識した姿勢、働き方、社会人としてのルールやマナー、コミュニケーション等について学ぶ機会を創出する。必要に応じて社会福祉資源と連携し、希望職種への就労に向けたサポートを行う。就労後も定着に向けた支援を行った。

（３）生活支援

ライフステージに応じた生活をつくるため、他福祉機関など、本人を取り巻くネットワークと連携を図りながらより主体的に自己選択・決定し、人生を歩むことができるようきょうサポートを行った。

（４）環境整備

コロナ禍に伴う、新しい生活様式の徹底。また、事業所内の清掃・消毒も利用者が行うことで、一人一人の衛生管理・安全、危機管理の意識の向上を行っていく。職員は一人一人が意識して生活ができるよう声掛けを徹底する。物理的側面での安全管理については職員が行い、事故けががないよう努めた。

（５）健康管理（営業日）

コロナ禍に伴い、各利用者が体温、健康管理の記録をつけ自己管理できるようサポートし、疾病の予防につなげていく。季節に応じた声掛けを行うことで自己管理できるようサポートを行った。

（６）防災計画（年 2 回開催 年間予定表通り）

年に一度、消防署の立会いのもと防災訓練を実施し、避難・通報・消化訓練を行い、職員と利用者が速やかに避難できるようにして行う予定であったが、感染予防対策上年 1 回、消防署立ち合いなしでの実施となった。

（７）「まちなか夢工房」友の会（月 1 回開催 第 1 金曜日：午後）

月に 1 度（毎月第 1 金曜日の午後）代表の利用者で店舗運営に関わる意見、行事、施設活動における希望や要望、対人関係面でのルールやマナー等について話し合いを行った。

自治会として、利用者が中心となり、集団の中での自分の意見や思いが言葉で表現できるようになることを目指し開催。少しずつではあるが言語的自己表現ができるようになってきている。

項 目	実施した内容
職員研修	まちなか夢工房職員が、福祉事業所職員として ①利用者に対しての基本的接し方の習得 ②福祉就業姿勢を身に付ける ③福祉的援助技術を学ぶ ④他事業所との繋がり（コミュニティ）を持つ 以上を目標に将来の福祉事業所展開に向けての人材育成を目的とし各種研修会等へ参加した。 なお今年度もコロナ禍ということで、主にオンラインでの OJT 研修を行った。

	<div>4月OJT研修「職員倫理綱領」 現場研修 相談支援事業所ベーシック懇職員 1名</div> <div>5月OJT研修「施設長より質問タイム」 現場研修 相談支援事業所ベーシック懇職員 1名</div> <div>6月OJT研修「第1回虐待防止研修 障がい者虐待防止について」</div> <div>7月OJT研修「福祉制度」 精神保健福祉士 実習指導者講習会 1名</div> <div>8月OJT研修「福島県総合計画」</div> <div>9月OJT研修「第2回虐待防止研修」</div> <div>10月OJT研修「自動車事故対応マニュアル」</div> <div>11月OJT研修「就労移行支援事業所として発達障害をお持ちの利用者様が就労するための取り組みについて」 令和4年度南東北エリア 就業支援実践者研修 精神障害者コース 1名</div> <div>12月OJT研修「職員のストレスマネジメントについて」</div> <div>1月OJT研修「保健所出前講座 感染症の現状と予防対策について」</div> <div>2月OJT研修「今年度の振り返りと次年度の目標」</div> <div>3月OJT研修「成年後見人制度」</div>																				
事故報告 ヒヤリハット 苦情	<div>◆事故報告発生件数（2件登録） 内容：書類提出漏れ、交通事故</div> <div>◆ヒヤリハット報告（2件） 内容：利用者対応</div> <div>◆苦情（1件） 内容：職員対応</div>																				
職場体験 受入報告	<div>実習・体験</div> <table><tr><td>名称</td><td>人数</td><td>名称</td><td>人数</td></tr><tr><td>ふくしま支援学校</td><td>2名</td><td>福島学院大学</td><td>1名</td></tr><tr><td>福島商工会議所</td><td>2名</td><td>福島第一小学校</td><td>2名</td></tr><tr><td>あぶくま支援学校</td><td>1名</td><td>杜の花</td><td>1名</td></tr><tr><td>その他利用体験</td><td>7名</td><td>ビーンズふくしま</td><td>7名</td></tr></table>	名称	人数	名称	人数	ふくしま支援学校	2名	福島学院大学	1名	福島商工会議所	2名	福島第一小学校	2名	あぶくま支援学校	1名	杜の花	1名	その他利用体験	7名	ビーンズふくしま	7名
名称	人数	名称	人数																		
ふくしま支援学校	2名	福島学院大学	1名																		
福島商工会議所	2名	福島第一小学校	2名																		
あぶくま支援学校	1名	杜の花	1名																		
その他利用体験	7名	ビーンズふくしま	7名																		
年間行事報告	<div>4月9日レク活動「あんぽパン製造・梱包・発送」 19日ビーンズふくしま見学対応 11日～13日相談支援事業所ベーシック懇職員現場研修受け入れ 23日レク活動「あんぽパン梱包、Tシャツプリント」</div> <div>5月1日レク活動「飯坂ファーマーズマーケットイベント取材」 4日レク活動「パン＆ベイクまつりイベント出店及び取材」 7日レク活動「道の駅りょうぜん あんぽパン梱包、納品」 14日青葉学園 ひまわり畑種植え参加</div>																				

	<p>28 日レク活動「街コスイベント店舗営業」</p> <p>23 日～6 月 17 日ふくしま支援学校実習受け入れ</p> <p>6 月 6 日～17 日あぶくま支援学校実習受け入れ</p> <p>9 日・16 日福島学院大学プレ実習受け入れ</p> <p>14 日ビーンズふくしまサポートステーション体験受け入れ</p> <p>27 日福島第一小学校インターンシップ受け入れ</p> <p>7 月 2 日レク活動「祭り企画準備」</p> <p>19 日ビーンズふくしまサポートステーション体験受け入れ</p> <p>18 日 3 ai フェスティバル イベント出店</p> <p>8 月 11 日レク活動「あんぽパン納品と大波城跡ひまわり畑取材」</p> <p>12 日レク活動「持地&遠藤農園 クラファン返礼品発送」</p> <p>9 月 3 日レク活動「店外ディスプレイ変更」</p> <p>21 日ビーンズふくしまサポートステーション体験受け入れ</p> <p>10 月 8 日レク活動「松韻学園文化祭納品用パン製造」</p> <p>9 日「桜つづみ公園 オータムフェスティバル」出店</p> <p>10 日「村の小さなマルシェ」出店</p> <p>26 日ビーンズふくしまサポートステーション体験受け入れ</p> <p>28 日防災訓練（火災）実施</p> <p>29 日レク活動「シャローム納品パン製造」</p> <p>11 月 5 日「本博 2022」出店</p> <p>6 日「村の小さなマルシェ」出店</p> <p>13 日「ふくしまちなかテーマパーク」出店</p> <p>19 日ひまわり感謝祭参加</p> <p>25 日福島第一小学校インターンシップ受け入れ</p> <p>民友愛の事業団助成金贈呈式</p> <p>30 日ビーンズふくしまサポートステーション体験受け入れ</p> <p>12 月 4 日「カルチャーペアリングポップアップコーヒーイベント」出店</p> <p>14 日福島学院大学にて講義</p> <p>1 月 4 日レク活動「新年店舗清掃、ディスプレイ変更」</p> <p>14 日レク活動「須賀川設楽農園 ネギ収穫」</p> <p>28 日レク活動「ディスプレイ変更、焼き菓子試作」</p> <p>2 月 25 日レク活動「ビーンズふくしまコラボ 芋菓子試作会」</p> <p>3 月 21 日レク活動「パン製造、店内ディスプレイ変更」</p> <p>定期開催 ケース会議・職員会議：毎週水曜日</p> <p>ベーシック憩との合同ケース会議：第 2 金曜日</p> <p>夢工房友の会：第 1 金曜日</p>
--	---

項 目	実施した内容			
施設利用 状況報告		月	事業所稼働日	利用延べ人数
		4 月	22 日	242 名
		5 月	21 日	255 名
		6 月	22 日	250 名
		7 月	22 日	237 名
		8 月	20 日	221 名
		9 月	21 日	227 名
		1 0 月	21 日	241 名
		1 1 月	22 日	233 名
		1 2 月	21 日	237 名
		1 月	20 日	205 名
		2 月	20 日	194 名
		3 月	23 日	237 名
		合計	④ 255 日	⑤ 2779 名
	○平均利用者数 10.90 人（出席率平均 70％） 算定式 ②÷① ※減算対象 25 人以上（3 ヶ月利用延べ人数）			
○訓練等給付費実績				
	令和 02 年度	23,859,700 円		
	令和 03 年度	24,309,890 円		
	令和 04 年度	21,359,475 円 （うち処遇改善加算 1,096,430 円）		
令和 5 年 3 月末までの利用者人数と変動				
○利用者人数 1 6 名（2 0 名定員）				
精神障害（精神福祉手帳及び医師の診断） = 8 名				
知的障害（療育手帳） = 7 名				
身体障害（身体福祉手帳） = 1 名				
○新規登録者 3 名				
○退所者 1 名				
○就職者 1 名 （女性利用者 1 名、男性利用者 0 名）				

令和4年度 年間予定表 まちなか夢工房（職員用） 案

令和4年4月1日現在

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 金 友の会・ケース会議	1 日 友の会・ケース会議	1 水	1 金 友の会・ケース会議	1 月	1 木 友の会・ケース会議	1 土	1 火	1 木	1 日 元旦	1 水	1 水
2 土	2 月	2 木	2 土	2 火	2 金 友の会・ケース会議	2 日	2 水	2 金	2 月 振替休日	2 木	2 木 職員会議
3 日	3 火 憲法記念日	3 金 友の会・ケース会議	3 日	3 水	3 土	3 月	3 木 文化の日	3 土	3 火 友の会・ケース会議	3 金 友の会・ケース会議	3 金 友の会・ケース会議
4 月	4 水 みどりの日	4 月	4 月	4 木	4 日 職員会議	4 火	4 金 友の会・職員ケース会議	4 日	4 水 レクリエーション活動	4 土	4 土
5 火	5 木 こどもの日	5 日	5 火	5 金	5 月 友の会・ケース会議	5 水	5 土	5 月	5 木 職員会議	5 日	5 日
6 水	6 金 友の会・職員ケース会議友の会	6 月	6 水	6 土	6 火	6 木	6 日 職員会議	6 火	6 金 友の会・ケース会議	6 月	6 月
7 木 職員ケース会議	7 土	7 火	7 木 職員ケース会議	7 日	7 水	7 金 友の会・ケース会議	7 月	7 水	7 土	7 火	7 火
8 金 合同ケース会議	8 日	8 水	8 金 合同ケース会議	8 月	8 木 職員ケース会議	8 土	8 火	8 木	8 日 職員ケース会議	8 水	8 水
9 土	9 月	9 木 職員ケース会議	9 土	9 火	9 金 合同ケース会議	9 日	9 水	9 金	9 月 成人の日	9 木 職員ケース会議	9 木 職員会議
10 日	10 火	10 金 合同ケース会議	10 日	10 水	10 土	10 月 スポーツの日	10 木 職員ケース会議	10 土	10 火	10 金 合同ケース会議	10 金 合同ケース会議
11 月	11 水	11 土	11 月	11 木	11 日 山の日	11 火	11 金	11 日 合同ケース会議	11 水	11 土 建国記念の日	11 土
12 火	12 木 職員ケース会議	12 日	12 火	12 金 夏季休暇	12 月	12 水	12 土	12 月	12 木 職員ケース会議	12 日	12 日
13 水	13 金 合同ケース会議	13 月	13 水	13 土	13 火	13 木 職員ケース会議	13 日	13 火	13 金 合同ケース会議	13 月	13 月
14 木 職員会議	14 土	14 火	14 木 職員会議	14 日	14 水	14 金 合同ケース会議	14 月	14 水	14 土	14 火	14 火
15 金 ケース会議	15 日	15 水	15 金 ケース会議	15 月	15 木 職員ケース会議	15 土	15 火	15 木	15 日 職員ケース会議	15 水	15 水
16 土	16 月	16 木 職員ケース会議	16 土	16 火	16 金 リーダー会議	16 日	16 水	16 金	16 月	16 木 職員会議	16 木 職員ケース会議
17 日	17 火	17 金 リーダー会議	17 日	17 水	17 土 レクリエーション活動	17 月	17 木	17 土	17 火	17 金 ケース会議	17 金 リーダー会議
18 月	18 水	18 土	18 月 海の日	18 木	18 日 職員ケース会議	18 火	18 金	18 日 ケース会議	18 水	18 土 レクリエーション活動	18 土 レクリエーション活動
19 火	19 木 職員会議	19 日	19 火	19 金	19 月 合同ケース会議	19 水	19 土	19 月	19 木 職員会議	19 日	19 日
20 水	20 金 ケース会議	20 月	20 水	20 土	20 火	20 木	20 日 職員会議	20 火	20 金 ケース会議	20 月 全体MTG	20 月
21 木 職員ケース会議	21 土 OJT研修	21 火 レクリエーション活動	21 木 職員会議	21 日	21 水	21 金 ケース会議	21 月	21 水	21 土 レクリエーション活動	21 火	21 火 春分の日
22 金 OJT研修	22 日	22 水	22 金 ケース会議	22 月	22 木 職員ケース会議	22 土	22 火	22 木	22 日 職員ケース会議	22 水	22 水
23 土 レクリエーション活動	23 月 全体MTG	23 木 職員ケース会議	23 土	23 火	23 金 秋分の日	23 日	23 水	23 金 勤労感謝の日	23 月 全体MTG	23 木 天皇誕生日	23 木 職員ケース会議
24 日	24 火	24 金 OJT研修	24 日	24 水	24 土	24 月	24 木 全体MTG	24 土	24 火	24 金 OJT研修	24 金 OJT研修
25 月 全体MTG	25 水	25 土 レクリエーション活動	25 月 全体MTG	25 木 職員ケース会議	25 日	25 火	25 金 OJT研修	25 日	25 水	25 土	25 土
26 火	26 木 職員ケース会議	26 日	26 火	26 金	26 月 全体MTG	26 水	26 土	26 月	26 木 職員ケース会議	26 日	26 日
27 水	27 金 OJT研修	27 月 全体MTG	27 水	27 土	27 火 レクリエーション活動	27 木	27 日 職員ケース会議	27 火	27 金 OJT研修	27 月	27 月 全体MTG
28 木 職員ケース会議	28 土	28 火	28 木 職員ケース会議	28 日	28 水	28 金	28 月 OJT研修	28 水	28 土 職員ケース会議	28 火	28 火
29 金 昭和の日	29 日	29 水	29 金 OJT研修	29 月	29 木 職員ケース会議	29 土	29 火	29 木	29 日 冬期休暇	29 水	29 水
30 土	30 月	30 木 職員会議	30 土 レクリエーション活動	30 火	30 金 OJT研修	30 日	30 水	30 金	30 月	30 木 職員会議	30 木 職員会議
	31 火		31 日	31 水		31 月		31 土	31 火		31 金 ケース会議
	食品検査				検便		防災訓練（部分訓練）				総合防災訓練
所定労働日 数21日	所定労働日 数21日	所定労働日 数22日	所定労働日 数20日	所定労働日 数19日	所定労働日 数20日	所定労働日 数20日	所定労働日 数20日	所定労働日 数22日	所定労働日 数18日	所定労働日 数19日	所定労働日 数22日
22 0	23 -1	22 1	23 -2	23 -3	22 -1	23 -2	22 -1	23 0	23 -4	20 0	23 0

イ 関
ベ 係
ン 審
ト と
外 の
部 交
等 流

- ※所定労働日数244日、レクリエーション活動13日
- ※都合により計画が変更になる場合があります
- 職員会議(週1回)
- ケース会議(週1回)
- 合同ケース会議(月1回)
- 全体MTG(月1回)
- リーダー会議(年4回)
- OJT研修(月1回,内3回虐待防止)
- 書類整理(月1回)
- 訓練等給付費請求(毎月10日)
- 通所交通費助成申請(年4回)

一般社団法人シャローム福祉会 ひまわりプロジェクト 2022年度 報告

みんなの煎餅（売上・作業工賃・販売手数料）

年月	煎餅売上金額	作業工賃料	販売手数料	憩収入合計金額
R4.4	¥ 40,000	¥ 4,000	¥ 8,000	¥ 12,000
R4.5	¥ 12,000	¥ 1,200	¥ 2,400	¥ 3,600
R4.6	¥ 255,625	¥ 23,800	¥ 9,400	¥ 33,200
R4.7	¥ 216,550	¥ 21,300	¥ 42,400	¥ 63,700
R4.8	¥ 44,350	¥ 4,300	¥ 8,600	¥ 12,900
R4.9	¥ 11,950	¥ 1,900	¥ 3,800	¥ 5,700
R4.10	¥ 21,540	¥ 2,000	¥ 4,000	¥ 6,000
R4.11	¥ 433,800	¥ 28,700	¥ 4,800	¥ 33,500
R4.12	¥ 110,700	¥ 9,300	¥ 9,200	¥ 18,500
R5.1	¥ 57,000	¥ 5,700	¥ 11,400	¥ 17,100
R5.2	¥ 502,920	¥ 55,100	¥ 15,800	¥ 70,900
R5.3	¥ 25,050	¥ 2,200	¥ 4,400	¥ 6,600
合計額	¥ 1,731,485	¥ 159,500	¥ 124,200	¥ 283,700

箱数	本数
みんなの煎餅	ひまわり油
40	12
12	6
238	323
213	106
43	123
19	80
22	36
287	171
93	24
57	56
551	413
22	221
1597	1,571

全国栽培協力 発送・戻り 一覧表

北海道			北東北			南東北			関東			信越			北陸		
	送	戻		送	戻		送	戻		送	戻		送	戻		送	戻
北海道	9	56	青森	0	5	宮城	1	2	茨城	1	14	新潟	1	1	富山	1	1
			秋田	1	0	山形	1	4	栃木	5	24	長野	18	38	石川	1	1
			岩手	3	9	福島	0	1	群馬	3	16				福井	1	1
									埼玉	13	93						
									千葉	11	45						
									神奈川	26	101						
									東京都	27	119						
									山梨	0	12						
合計	9	56	合計	4	14	合計	2	7	合計	86	424	合計	19	39	合計	3	3

中部			関西			中国			四国			九州		
	送	戻		送	戻		送	戻		送	戻		送	戻
静岡	4	18	大阪府	5	19	岡山	29	35	高知	5	6	福岡	4	7
愛知	3	20	京都府	4	16	広島	1	1				佐賀	0	1
三重	1	2	滋賀	4	6	山口	1	1				熊本	1	2
岐阜	4	4	奈良	1	10	島根	0	1				大分	2	3
			和歌山	1	1							鹿児島	1	1
			兵庫	3	7									
合計	12	44	合計	18	59	合計	31	38	合計	5	6	合計	8	14

	送数	戻り数
北海道	9	56
東北	6	21
関東	86	424
信越	19	39
北陸	3	3
中部	12	44
関西	18	59
中国	31	38
四国	5	6
九州	8	14
合計	197	704

総合計ひまわりの種回収数量 1,392,281g（約1,400kg）

「ひまわりの種配布」 連携団体2カ所

生活クラブ事業連合生活協同組合 1袋6粒入りの種＋栽培小冊子×6,000セット配布

グリーンコープ生活協同組合 114ヶ所 合計配布粒数：62,482粒

「福島市産ひまわりの種」83kg持込 131本瓶詰 放射能検査済